

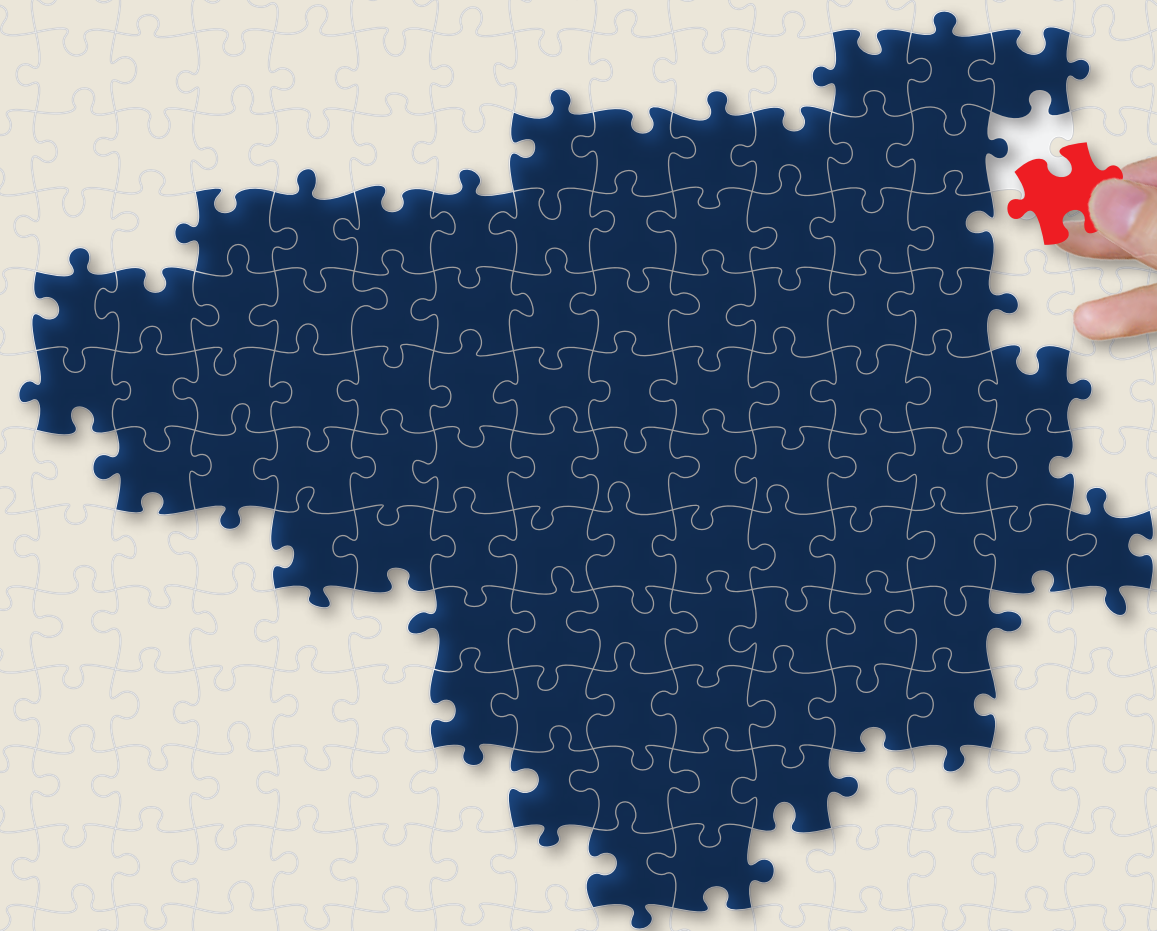
TOKUSHIMA 2025

職員採用案内



新時代へ
躍り出そう

AI
Sustainable Land
TOKUSHIMA



未来に引き継げる徳島の実現

今まさに地方の正念場、「地方創生戦国時代」のまっただ中との認識の下、県民の皆様とビジョンや政策の共有を図りながら、前例踏襲を打破し、新次元の政策実現に全力で取り組んでいます。

若者をはじめ誰もが「ずっと居りたい」、一度離れても「いつも帰りたい」、国内外の方々が「みんな行きたい」を徳島県の目指す姿として掲げ、これらの実現に向けて、「県民目線」と「現場主義」で「未来志向の挑戦」ができる人材を求めています。

達成すべきミッション

「未来に引き継げる徳島の実現」を基本理念とする、新たな県政運営指針「徳島新未来創生総合計画」では、「安心度」「魅力度」「透明度」を高めることをミッションとし、各政策の実現に積極的に取り組んでいます。

● 安心度UP

県勢発展の基盤となる安心度の向上に向け、本県子ども施策の新たな道しるべ「徳島県子ども計画」に基づく「こどもと子育ての支援」や、大規模災害に備えた生活・産業インフラの整備による「県土の強靱化・レジリエンス(回復力)の確保」など

● 魅力度UP

労働力不足の解消に向けた「持続的な賃金引上げの促進」や「生産性向上の支援」、タイ政府機関と締結した産業連携覚書や新設した地域商社「徳島県産業国際化支援機構」を原動力とする「企業の海外展開支援・輸出拡大」、新たに就航した「国際定期便」や本県が参画する「2025年大阪・関西万博」等を活用した「観光振興」、県市協調による「県都のまちづくり」、蓄電池産業の世界的な成長を見据えた「バッテリーバレイ構想」の推進や国内最大規模の宇宙分野の国際会議「ISTS徳島大会」開催を契機とした「産業振興」など

● 透明度UP

県民参加型の開かれた県政運営の推進、職員の働き方改革の推進による県政運営体制の刷新や、フロー・ストック両面からの持続可能な財政運営の推進など

こうした新次元の政策を実現するためには、既成概念にとらわれない新しい発想を持った皆さんの力が必要です。

徳島新時代へ

「地方創生戦国時代」を本県が勝ち抜くためには、この2、3年が重要であると考えており、さらにギアを上げ、フルスイングで積極果敢に挑戦していきます。一緒に新時代を切り開いていきましょう！

徳島県知事 後藤田 正純



CONTENTS

01 知事メッセージ

02 徳島県重点施策

03 主な県の庁舎・組織図

04 職種紹介

05 職員インタビュー

13 新規採用職員座談会

15 子育て支援制度・育児体験記

16 県庁働き方改革

17 研修制度・人事交流

18 勤務条件等

19 徳島県職員採用試験が変わります！

21 よくある質問

22 採用までの主な流れ

安心度UP

「こどもまんなか社会」の実現



◀ 赤ちゃん授業で命の尊さ・育児の喜びを実感

「人口減少・少子化」、「児童虐待」、「こどもの居場所づくり」など複雑多様化する課題に対し、ライフステージに応じた「切れ目ない支援施策」を展開し、「住みやすく、育てやすい徳島」の実現に取り組んでいます。

危機管理体制の充実と 県土強靱化の推進



◀ 防災関係機関と連携したCPX(災害対策本部訓練)

切迫する南海トラフ巨大地震や、激甚化・頻発化する豪雨災害など、大規模自然災害に備え、防災装備品の充実、訓練の頻回実施、県公式LINE加入促進など防災・減災対策を推進しています。



[LINE]

グリーン社会の構築



◀ 県有施設に太陽光発電設備等を率先導入！

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、徳島県GX推進計画に基づき、太陽光発電設備、蓄電池及びEVの普及拡大など、県民主役による「脱炭素型ライフスタイル」への早期転換に取り組んでいます。

魅力度UP

観光立県の推進 ～徳島観光復活ビッグバン～



◀ 本県初となる「香港国際定期便」及び「韓国国際定期便」が就航！

令和6年、県政史上初となる通年の国際定期便が2路線就航。世界有数のハブ空港である香港・仁川とダイレクトにつながることで、海外へのアクセスが飛躍的に向上しました。徳島阿波おどり空港を玄関口とした「世界に開かれた徳島」の実現に取り組んでいます。

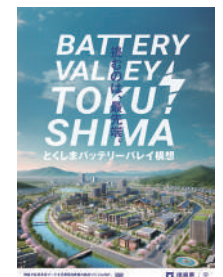
国内外から選ばれる 魅力的な地域づくり



◀ タイ政府機関とのMOU締結

東アジア・東南アジア・南アジア及びオセアニアの経済的結節点であるタイ王国において現地政府機関とのMOU(産業連携覚書)を締結し、県内企業のビジネス拡大を支援することで、本県経済の発展に繋げる取り組みを行っています。

地域経済を牽引する企業の 成長と新産業の創生



◀ 徳島バッテリーバレイ構想の推進

蓄電池関連産業を新たな産業の柱として確立し、地域経済を活性化させるため、企業誘致や生産性の向上、人材の育成や確保など、業界ニーズに応じた戦略を迅速かつ積極的に展開しています。



[ウェブサイト]

透明度UP

開かれた県政運営の推進



◀ 徳島県庁クリスマスマルシェ

より魅力のある「開かれた県庁」の実現に向け、クリスマスや万博開催に向けた機運醸成など、イベントに合わせた県民の誰もが参加できるマルシェを開催しています。

時代のニーズに対応する 県政運営体制



◀ 若手職員プロジェクトチームの結成

若手の意見を取り入れた部局再編を行っているほか、全職員を対象とした意見募集により、万代庁舎内の全フロアに無線LAN環境の整備が実現するなど、働きやすく魅力ある職場環境づくりに取り組んでいます。

徳島新未来創生総合計画は、
こちらからご確認ください！

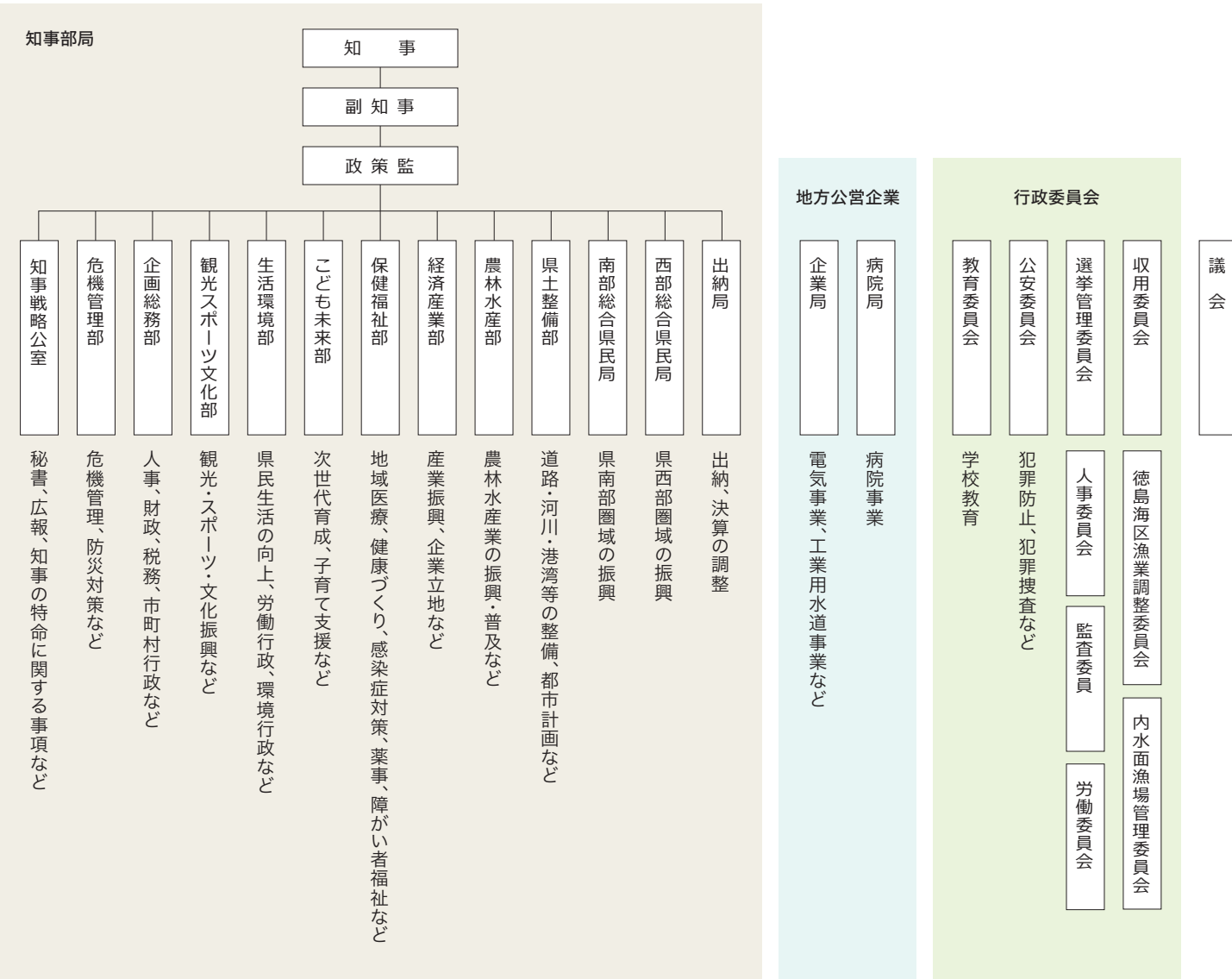


いっしょに頑張る

主な県の庁舎



組織図



職種紹介

	行政事務	県税の賦課徴収や生活保護のケースワーク、許認可業務などのほか、施策の企画立案、条例・規則の制定、予算・経理といった内部管理業務など、県行政全般において様々な業務に従事。
	電気	水力及び太陽光発電施設並びに工業用水道施設等における技術(強電)的業務のほか、電気事業及び工業用水道事業等の経営に関する業務に従事。また、設備職として、県有施設の建設・営繕、県営住宅の建設・管理、建築設備工事の設計積算・監督等の業務に従事する場合もあり。
	機械	水力及び太陽光発電施設並びに工業用水道施設等における技術(機械)的業務のほか、電気事業及び工業用水道事業等の経営に関する業務に従事。また、設備職として、県有施設の建設・営繕、県営住宅の建設・管理、建築設備工事の設計積算・監督等の業務に従事する場合もあり。
	建築	建築物の確認審査や技術的な指導、県営住宅や学校施設などの公共建築物の設計や工事監理、住宅の耐震化や長寿命化、県産木材を活用した住宅の普及促進をはじめとする「安全に安心して暮らせる住環境の構築」に向けた政策立案や県民等の取組み支援などの業務に従事。
	総合土木	道路、河川、砂防、港湾、海岸、都市計画等の社会基盤整備に係る政策立案及び事業計画の策定や、公共工事の設計積算、施工管理等の業務。また、「生産基盤の整備」「農村の整備」「農地の保全」など、農業・農村の整備に関する業務に従事。
	農業	農業技術の普及指導、農家経営改善指導、農業大学校での教育、新品種・新技術の開発等の試験研究、農産物の生産振興・流通対策、六次産業化、農村環境保全等の業務に従事。
	林業	林業技術の普及指導、造林事業、治山・林道事業、県民参加の森林づくり事業、林業プロジェクトで展開中の県産材の生産・流通・加工・需要拡大など森林整備や林業の振興に係る業務のほか、林業に関する試験研究等の業務に従事。
	水産	水産技術の普及指導、養殖技術の指導、水産資源の増殖・管理、水産物流通対策、生産基盤の整備など水産業の振興に係る業務のほか、先端技術や生産現場に直結する技術の試験研究等の業務に従事。
	薬剤師	保健所等における薬事・衛生・環境に関する監視・指導等、保健製薬環境センターにおける医薬品・衛生・環境に関する試験研究及び検査等、県立病院における医薬品の調剤・製剤・服薬指導等の業務に従事。
	管理栄養士	保健所等において、様々な関係機関と連携し、正しい食情報の発信と健康的な食事を選択しやすい環境を整える業務や、食の安全安心を推進するための衛生指導業務等に従事。また、県立病院においては、適切な栄養管理と継続的な食事療養をサポートすることにより、治療の一翼を担う業務に従事。

試験採用

心理

こども女性相談センター(県内3か所)、精神保健福祉センターなどの県民を対象とした福祉・医療領域の相談支援機関において、心理面接・心理判定・相談支援などの専門的な業務に従事。

保健師

保健所等において、地域の健康づくりや精神保健・感染症・健康危機管理対策等の広域的・専門的業務に従事し、多様な関係機関や県民との連携を通じ、地域の健康課題解決に向けた取組みを推進し、県民の健康を支える業務に従事。

化学

大気汚染、水質汚濁等の監視・指導、環境影響評価の審査・指導、産業廃棄物対策等に関する業務、環境に関する試験研究及び検査業務に従事。また、本県の産業振興のための研究開発、技術相談、試験分析等の業務に従事。

司書

県立図書館または県立学校図書室において、資料の収集、整理、保存、提供及びレファレンスに従事。また、県民や地域の課題解決に向けた図書館サービスの充実・向上を図る等の業務に従事。

福祉

こども女性相談センター(県内3か所)における児童相談業務・一時保護業務・女性支援業務や、児童自立支援施設(徳島学院)における児童自立支援業務、福祉事務所における生活保護業務に従事。また、障がい者支援を行うセンター等における相談援助業務や福祉関係課における政策企画立案業務等に従事。

獣医師

食肉の安全性確保や流通する食品の衛生監視と指導、人獣共通感染症対策や動物愛護管理、生物多様性の保全等に関する業務に従事。また、家畜伝染病の発生及びまん延防止や安全・安心な畜産物を提供するため、畜産農家への立ち入り検査や家畜伝染病サーベイランス、さらには動物用医薬品の監視指導や産業動物の診療等、畜産全般に係る総合的な指導業務に従事。

学芸員

県立博物館または県立美術館等において、調査研究、資料の収集、保管、展示、教育普及等の業務及びその他の行政事務に従事。

診療放射線技師

県立病院において放射線を用いた検査・治療の業務を行うほか、保健所における各種検診等、保健衛生に係る業務に従事。

臨床検査技師

県立病院において検体検査や生理機能検査等を行うほか、保健製薬環境センター等において環境衛生や食品衛生に関する検査・試験研究等に従事。

※掲載されている職種の採用が毎年あるとは限りません。
また、上記以外の職種を募集することもありますので、ホームページなどで最新情報をチェックしてください。

試験採用

選考採用



●県職員・職種の魅力

幅広い分野で活躍できる



東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 主事

海老名 和 令和4年度入庁（10月採用）

【過去の所属歴】

●令和4年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞

保健師

徳島県の保健師の配属は保健所だけでなく、万代庁舎やこども女性相談センター（児童相談所）など多岐にわたります。また、健康づくり、母子保健、精神保健、難病保健、感染症対策など幅広い分野で専門性を生かし活躍することができます。

どの分野においても、当事者や家族、協働する関係者とともに考え、地域の健康課題解決のために働くことができるのが保健師の大きな魅力のひとつだと思います。

●県職員・職種の魅力

自身のステップアップにつながる職場がある



徳島家畜保健衛生所 主事

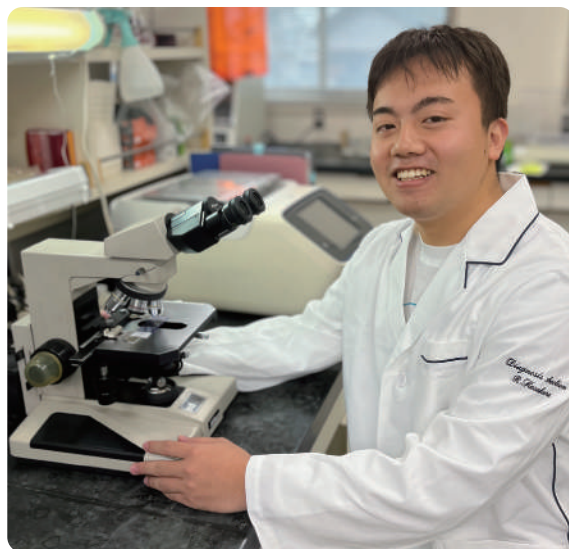
笠原 利気 令和4年度入庁

【過去の所属歴】

●令和4年度：徳島家畜保健衛生所

獣医師

公務員獣医師の業務は幅広く、畜産、研究、診療、食品衛生、動物愛護などいろいろな分野の職場で勤務することができます。特に徳島県は農林水産分野と公衆衛生分野間の人事異動がよく行われています。大変なことも多いですが、その分多くの分野にわたる知識や技術を身につけることができます。大学生活を通して学んだことを活かせる機会が多く、様々な形で県民の皆様に貢献できることにやりがいを感じます。



●県職員・職種の魅力

業務を通して徳島の魅力を再発見できる



西部総合県民局県土整備部＜三好＞ 主事

淡島 珠里 令和4年度入庁

【過去の所属歴】

●令和4年度：ダイバーシティ推進課

●令和6年度：西部総合県民局県土整備部＜三好＞

行政事務

入庁後すぐに自分の業務がしっかりと割り当てられ、県職員としての責任感が一気に高まります。

行政事務は特別な資格を持つ職種ではありませんが、自分の業務の枠を超えて様々な分野で活躍すると繋がることができ、知見、経験を広げながら自分自身を大きく成長させることができる職場です。業務内容は多岐に渡りますが、全てが自分の住む地域の活性に繋がっていると思うと、とてもやりがいを持って働くことができます。



●県職員・職種の魅力

多様な職種の職員と働くことができる



スポーツ振興課 主任主事

佐藤 穂波 令和元年度入庁

【過去の所属歴】

●令和元年度：職員厚生課

●令和3年度：東部保健福祉局＜徳島＞

●令和5年度：スポーツ振興課

行政事務

行政事務の魅力は、多種多様な業務を経験できることだと思います。外に出て、県民の皆様と関わりをもつ機会が多い職場もあれば、職員を相手に業務を行う職場もあります。1つの課の中にも、イベントを担当する職員もいれば、補助金を担当する職員もいます。

勤務先を変えずにこれだけ様々な分野に携わることができるのは県職員ならではの感覚、多様な職種の職員と働くことができる点も大きな魅力だと思います。

●派遣中職員の声

財務省派遣

専門性の高い知識を身につけ成長できる



主計局 係員

森内 亮太 令和元年度入庁

【過去の所属歴】

●令和元年度：東部県土整備局＜吉野川＞

●令和3年度：危機管理政策課

●令和5年度：財務省派遣

行政事務

現在の仕事の魅力的な部分は、自分たちの事業に強い思いを持った相手省庁の方々と、忌憚なく事業について話し合い、予算という大きな作品を作り上げていけることにあります。

その中で、財政や事業の知識が身につくことに留まらず、財務省（国）としての考え方を知ることができており、徳島県庁に戻ってから活かせる貴重な経験とともに、自分自身の成長につながっています。



●県職員・職種の魅力

変わっていく姿を間近で実感できる



中央こども女性相談センター 主任主事

小林 悠 令和3年度入庁

【過去の所属歴】

●令和3年度：中央こども女性相談センター

福祉

現在は、児童福祉社として虐待対応や不登校相談、非行相談、子どもの発達や育児にかかる相談等に携わっています。関係機関と連携し支援していく中で、保護者と子ども自身が時には葛藤しながらも問題解決に向かって行動変容するプロセスを間近で実感できる瞬間は福祉職の魅力であると考えています。

難しい場面に直面することもあります。考え続けることで新しい気づきが生まれ、自己の成長にも繋がると考えています。





●県職員・職種の魅力

社会への貢献を実感できる



営繕課 主任主事

福永 柚理子

平成29年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成29年度：営繕課
- 令和2年度：東部県土整備局＜徳島＞
- 令和5年度：営繕課

「建築職」といっても政策立案、イベント企画、審査、設計工事など様々な分野において挑戦することができます。業務では、難しい課題に直面することもあります。先輩職員や同僚、他職種の方と力を合わせて解決してきました。

また、建築学科出身以外の職員も多く、一人ひとりが得意分野でよりよい徳島県になるよう助け合い、チームとなって働いていることを日々実感しています。

●県職員・職種の魅力

文化活動の拠点を作り上げることができる



博物館 主任学芸員

小布施 彰太

令和4年度入庁

【過去の所属歴】

- 令和4年度：博物館

徳島県立博物館は、県庁から少し離れた文化の森総合公園というところにあります。この公園には、博物館の他にも、図書館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館といった様々な施設が集まっており、各館の職員は自分の専門性を活かし、徳島の文化を中心とした多くの魅力的なコンテンツを取り扱っています。様々な職種の職員が協力し、徳島の文化活動の拠点となる場所を作り上げることができる点に魅力を感じています。



●県職員・職種の魅力

スケールが大きく、多種多様な
業務に携わることができる



市町村課 主任主事

和泉 貴也

平成28年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成28年度：観光政策課
- 令和元年度：東部保健福祉局＜徳島＞
- 令和3年度：ワクチン・入院調整課
- 令和4年度：選挙管理委員会事務局
- 令和6年度：市町村課

県職員は、仕事のスケールが大きく、多種多様な業務に携わることができます。定期的に異動があり、業務内容も大きく変わるため、大変な部分もありますが、その都度、新たな発見や、やりがいがあります。自分が担当する仕事によって、達成すべきミッションは細かく決まっていますが、どの仕事も最終的なミッションは「徳島県を良くする」ことであり、同じ志を持った職員が集まっている徳島県庁は働きやすい環境だと思います。



二次元コードを読み取ると各掲載者の
インタビュー全体を見ることができます。



●県外社会人枠採用職員の声

【ターン職員】

先駆的な取組や徳島で活躍する「人」に魅力を感じた



文化振興課 主任

花谷 真理

令和5年度入庁（1ターン職員）

【過去の所属歴】

- 令和5年度：文化・未来創造課
- 令和6年度：文化振興課

以前から徳島県や県内各市町村の先駆的な取り組みを目にすることが多く、何度か徳島に足を運んでいた中で、気候などの「風土」や徳島で活躍される「人」に魅力を感じ徳島への移住を決めました。

民間企業等でさまざまな経験をするなかで、公務員の仕事はいろんな視点から地域づくりに関われるところが面白いと感じていたこともあり、自身が魅力を感じ住みたいと思った地域をより好きに、良い地域にしたいと思い、県職員という仕事を選びました。

●県職員・職種の魅力

関係機関と協力して1つのものを
作り上げることができる



農山漁村振興課 主任

岡本 雅美

平成28年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成28年度：東部農林水産局＜徳島＞
- 令和元年度：農林水産基盤整備局生産基盤課
- 令和3年度：西部総合県民局農林水産部＜三好＞
- 令和5年度：東部農林水産局＜吉野川＞
- 令和6年度：農山漁村振興課

総合土木職で携わる施設は、農業用施設のほか河川、道路、防災施設など多岐にわたります。また、仕事内容も現場業務以外にも、県全体を見通し予算や事業管理を行うこともあります。数年ごとの異動のたび、多種多様な経験や学びを得られることは、総合土木職の魅力だと思います。

また、県全域にて事業を行っていますので、異動で新たな庁舎に行くと、これまで知らなかった風土や人を知ることができるのも魅力だと思います。



●県職員・職種の魅力

スキルアップを実感できる



企業局経営企画戦略課 主任

久木 卓真

平成25年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成25年度：企業局総合管理事務所
- 令和元年度：企業局経営企画戦略課
- 令和2年度：総務省派遣
- 令和4年度：企業局経営企画戦略課

電気職が取り扱う設備は、水力発電所、太陽光発電所等の発電設備や、工業用水道設備、駐車場等多岐にわたります。全ての設備が県内の社会インフラの一部を担っており、電気・水の安定供給等を通して徳島県の発展や県民の皆様の生活に寄与することができます、やりがいのある仕事です。

また、現場で学んだ知識を経営計画に反映させたり、経営の知識を工事設計に反映させたり、蓄積した経験を活かした仕事ができることも魅力です。



● 県職員・職種の魅力

こどもの未来のために働くことができる



心理

中央こども女性相談センター 係長
坂井 清香 平成20年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成20年度：中央児童相談所 技師
- 平成22年度：中央こども女性相談センター 主任主事
- 平成23年度：西部総合県民局保健福祉環境部＜美馬＞ 主任主事
(平成25年3月～平成26年3月 育児休業)
(平成26年10月～平成27年4月 育児休業)
(平成27年5月～平成27年8月 育児短時間勤務)
- 平成28年度：中央こども女性相談センター 主任
- 令和4年度：中央こども女性相談センター 係長

「心理職」の魅力は心理検査や心理面接、心理教育などを通じて、人を理解し、その人が生きやすくなるためのきっかけ作りができることです。何かをしてあげるのではなく、その人と一緒に変化を作っていくという考え方です。特にこどもはその変化が大きく、長期的には虐待予防にもつながります。様々な専門職で包括的に関わっていけるのも魅力です。決して目立つ仕事ではなく、感謝されることも少ないですが、こどもや家族の変化がやりがいになっています。

● 県職員・職種の魅力

環境施策等の最前線に関わることができる



化学

環境管理課 係長
中石 明希 平成21年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成21年度：保健環境センター 研究員
- 平成23年度：保健製薬環境センター 主任研究員
(平成25年2月～平成27年4月 育児休業)
- 平成30年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 主任
- 令和2年度：環境管理課 主任
- 令和3年度：環境管理課 係長

化学職の配属先は、主に環境保全及び産業振興に関わる部署です。私自身は、これまで工場の排水規制、環境の調査・研究、環境衛生に関する監視指導の業務に携わってきました。環境問題の多様化・複雑化により、環境行政の課題も従来の公害対策から脱炭素、海洋ごみ、生物多様性等まで多岐に渡ります。このような課題に、科学リテラシーを持って取り組み、県民の皆様より良い生活環境に貢献できるのは化学職の醍醐味だと思います。



● 派遣中職員の声

海陽町派遣

自身の力を成長させ、県民のために発揮できる



行政事務

海陽町にぎわい創造幹
森 建介 平成15年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成15年度：日和佐福祉事務所 主事
- 平成22年度：医療健康総局医療政策課主任主事
- 平成25年度：地域振興総局市町村課 主任
- 令和2年度：病院局総務課 係長
- 令和5年度：海陽町派遣

県職員の業務は多岐にわたり、様々な分野の業務を経験することになります。今回の長期派遣では、徳島県庁という組織を離れ、海陽町観光交流課で業務を行っていますが、住民に身近な地方現場に身を置き、直接地域の皆様の声を聴き、事業や政策を通して貢献していくという貴重な機会となっています。これまでの業務経験を活かした事業展開や組織間調整を行うことで、自身の成長と知見の広がりを実感しており、大きな財産となっています。



二次元コードを読み取ると各掲載者の
インタビュー全体を見ることができます。



● 県職員・職種の魅力

技術を習得し農業の発展に貢献できる



農業

農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 上席研究員
建本 聡 平成23年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成23年度：南部総合県民局農林水産部＜阿南＞ 主事
- 平成26年度：監察局評価検査課 主任
- 平成29年度：農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 主任
- 令和2年度：農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 係長
- 令和5年度：農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 専門研究員
- 令和6年度：農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 上席研究員

農業職は、専門知識を活かしながら様々な分野の業務に携わることができます。最初に配属された部署では、普及に関する業務を担当し、担当品目の栽培指導を行っていました。現在の所属では研究担当として、これまでに習得した栽培管理の知識に加え、新たにプログラムの知識を習得し、AIを用いたスマート技術の開発に取り組んでいます。新しい技術の習得・活用が、現場課題の解決につながり、日々の業務に充実感を覚えています。農業職は様々な分野で活躍できるので、自分の適性に応じた分野を選択できることが魅力であると考えています。



● 県職員・職種の魅力

他の業務に繋がる幅広い視野と知識を習得できる



管理栄養士

東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 課長
竹谷 水香 平成9年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成9年度：日和佐保健所 技師
(平成13年3月～平成14年1月、平成15年11月～平成16年12月 育児休業)
- 平成18年度：吉野川保健所 技術主任
- 平成28年度：西部総合県民局保健福祉環境部＜美馬＞ 係長
- 令和2年度：健康づくり課 課長補佐
- 令和5年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 課長補佐
- 令和6年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 課長

これまで、5カ所の保健所と県立病院、そして万代庁舎に配属になり、管理栄養士として多様な業務を経験してきました。特に県立病院では病院でしか取得できない資格を取得し、その経験は保健所や万代庁舎での業務に役立っています。配属先によっては、一から学び苦労することもあります。そこで経験したことは必ず他の業務にも繋がっており、幅広い視野と知識を習得することができるのが県職員の魅力であると感じています。



● 県職員・職種の魅力

物事を多面的に捉える力が養われる



行政事務

こども未来政策課 副課長
青木 豊泰 平成14年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成14年度：環境局廃棄物対策課 主事
- 平成20年度：総務部派遣
- 平成22年度：地域振興総局地域情報課 主任主事
- 平成24年度：議会事務局総務課 主任
- 平成30年度：教育委員会教育政策課 係長
- 令和5年度：こども未来局こどもまんなか政策課 課長補佐
- 令和6年度：こども未来政策課 副課長

県職員として働く魅力は、様々な分野や業界に携われる事です。これまで廃棄物行政や地域情報化の推進、教育委員会や議会事務局への出向、国への派遣研修等を経験しました。業務を通じて多くの方と知り合えただけでなく、物事を多面的に捉える力が養われたと認識しています。変化の激しい時代に行政が直面する課題も複雑・高度化しており、全ての面で優れた施策を創る事は難しいですが、県民生活の向上に貢献できる事は大きな喜びとやりがいです。





●県職員・職種の魅力

百年後の森林をデザインする



林業振興課 課長

平島 聡一郎 平成4年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成4年度：協町農林事務所 技師
- 平成15年度：農林水産部 技術主任
- 平成22年度：林業飛躍局林業振興課 係長
- 平成28年度：林業戦略課新次元プロジェクト推進室 室長補佐
- 令和元年度：鳥獣対策・ふるさと創造課 副課長
- 令和4年度：総合政策課 政策調査幹（農林水産担当）
- 令和5年度：スマート林業課 課長
- 令和6年度：林業振興課 課長

県土の約4分の3を占める森林が、林業職員のメイン舞台です。自然を相手にする苦労もありますが、「百年後の森林」に思いをはせ、多様性に富んだ森づくりや、木材搬出の林道づくり、木造施設の建築、国土を守る治山事業など、後世に残る仕事をできるのが魅力の一つです。また、木質バイオマスの利用推進や野生鳥獣の適正管理なども林業職場の範囲なので、自然環境系の勉強や仕事に携わった方も即戦力になります。

●県職員・職種の魅力

様々な分野で視野・人脈を広げ成長できる



保健製薬環境センター 所長

相原 文枝 平成3年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成3年度：中央病院 技師（平成10年10月～平成11年8月育児休業）
- 平成14年度：徳島保健所 技術主任
- 平成21年度：製薬指導所 生薬製剤科長
- 平成23年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 係長
- 平成28年度：薬務課 課長補佐
- 平成30年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 課長
- 令和2年度：保健製薬環境センター 次長
- 令和5年度：保健製薬環境センター 所長

県職員の薬剤師は、医療、薬事、保健、食品衛生、環境など、様々な分野を経験できることが大きな魅力です。県職員にならなければ知ることのできなかった世界を経験し、多くの貴重な出会いに恵まれ、少しずつ成長できたと思います。いずれの職場も「面白さ」と「難しさ」があり、関係部局の方々と連携し、どうすればできるか考え抜いて、県民の皆様の健康や環境を守るため誠実に取り組むことにやりがいを感じています。



●県職員・職種の魅力

自らのアイデアを施策として具現化できる



労働雇用政策課移住交流室 室長

小山 高弘 平成9年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成9年度：農林政策課 主事
- 平成20年度：人事課 事務主任
- 平成26年度：長寿保険課 係長
- 令和元年度：財政課 課長補佐
- 令和3年度：農林水産政策課 副課長
- 令和5年度：グリーン社会推進課脱炭素推進室 室長
- 令和6年度：労働雇用政策課移住交流室 室長

県職員、特に行政事務の魅力は、様々な部局を経験でき、県全域や圏域ごとの広範な課題に取り組めるところにあります。決められた業務だけでなく、自らのアイデアを政策として具現化する、企画立案業務にも携われるところが醍醐味です。自分の考えを条例や予算として形にするには、根拠の確認や関係者との調整、議会の同意などのプロセスが重要となりますが、それらを一つ一つクリアしていくことで、自分自身の成長にも繋がります。

●県職員・職種の魅力

地域の将来デザインを自ら描くことができる



理事

佐藤 美奈子 昭和60年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 昭和60年度：医務課 主事
- 平成12年度：保健福祉政策課 事務主任
- 平成17年度：東京事務所 係長
- 平成23年度：政策企画総局 課長補佐
- 平成27年度：人事課 行政改革室 室長
- 令和元年度：県土整備部 次長
- 令和5年度：理事

行政職として、これまで保健福祉、商工労働観光、企画、総務、交通政策などの業務分野を経験しました。幅広い仕事で構成される職場「徳島県」の中で、何が自分に向いているのか、この判断は正しかったのかと、経験を積んでもなお自問自答の日々です。異動すれば仕事も人間関係も変わるため、慣れるまでは大変ですが、その経験値や人脈が仕事の幅を広げてくれます。正解が一つではないのも県職員の特徴であり、何より自ら住む地域の将来デザインを、一部であっても自ら描いていけることが県職員の醍醐味だと思います。



●県職員・職種の魅力

後世に残る仕事に携わることができる



危機管理部 副理事

榎本 茂樹 昭和58年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 昭和58年度：徳島土木事務所 技師
- 平成10年度：公園下水道課 技術主任
- 平成16年度：日和佐土木事務所工務課 河川砂防係長
- 平成23年度：河川局河川整備課 課長補佐
- 平成27年度：県土整備政策課 副課長
- 平成28年度：総合政策課 政策調査幹（県土整備担当）
- 平成30年度：県土整備政策課 課長
- 令和3年度：東部県土整備局 局長
- 令和5年度：県土整備部 県土強化統括監
- 令和6年度：危機管理部 副理事

総合土木職の職員は、万代庁舎においては、道路や河川といった分野ごとに、施策・取組方針の企画立案や予算の確保といった業務を行っています。東部県土整備局などの庁舎においては、具体的に道路や橋梁、河川堤防や排水機場などの公共工事を発注し、工事監督を行い、完成供用させるといった業務を担っています。公共事業と一括りに言っても分野が多岐に渡り、その業務も幅広いものになっており、また、防災分野にも携われるなど、個々の知識や経験をそれぞれの分野で活かせることは、大きな魅力の一つであると思います。



二次元コードを読み取ると各掲載者のインタビュー全体を見ることができます。



●県職員・職種の魅力

徳島は水産職を志望する方には魅力ある環境



農林水産総合技術支援センター
マリンサイエンスゾーン推進幹

山本 浩二 平成5年度入庁

【過去の主な所属歴】

- 平成5年度：水産試験場 研究員
- 平成14年度：水産課技術主任
- 平成21年度：ブランド戦略総局水産課漁業調整室 係長
- 平成26年度：南部総合県民局産業交流部＜美波＞ 主査兼係長
- 平成28年度：水産振興課 課長補佐
- 令和4年度：水産振興公害対策基金派遣
- 令和5年度：農林水産総合技術支援センター マリンサイエンスゾーン推進幹

水産職を志望する人は、魚（水産物）が好きの方が多くと思います。私自身、釣りが大好きで自分で料理して食べるのも好きという理由で水産職を選択しました。仕事の内容は様々ですが、実際の漁業現場での経験や、漁業関係者との出会いなどを通じて、水産業の重要さや楽しさを実感しています。特に本県は、複数の異なる海洋環境を有し、様々な漁業が営まれており、獲れる水産物の種類も多彩です。水産職を志望する方にとって、魅力ある環境で仕事ができるものと考えています。





round-table talk 新規採用職員座談会

様々な分野で日々業務に励んでいる入庁1年目の職員4名に、
入庁の決め手や仕事のやりがい、試験対策などについて
ざっくばらんに語ってもらいました。

徳島県庁「県民ホール」にて



今出 理桜
(行政事務)
農山漁村振興課
地籍・技術管理担当

●業務内容
土地の所有者や地番、面積等を確定する「地籍調査」の事務を担当する。
●その他
好きな食べ物は納豆。休日は、ホーム・アウェイ問わず徳島ヴォルティスの応援に駆けつける。

ある日のスケジュール
8:30 始業・メールチェック
10:00 町役場に検査業務
12:00 昼食・出張先の近辺の飲食店へ
13:00 国へ提出する書類の確認・修正
17:15 退庁



春兼 宗生
(行政事務)
南部総合県民局地域創生防災課＜美波＞
津波減災・危機管理担当

●業務内容
県南圏域の危機管理や減災に向けた「防災教育」に取り組む。
●その他
好きな食べ物は、オムライス。休日は、ランニングやバレーボールに汗を流す。

ある日のスケジュール
8:30 始業・メールチェック
10:00 防災無線の保守点検業務
12:00 昼食・お手製弁当を食べる
14:00 地元中学校にて防災出前講座の打合せ
17:15 退庁



長谷川 恵水
(林業)
西部総合県民局 農林水産部＜三好＞
森林土木担当

●業務内容
山地災害防止に向けた治山ダムの建設等の「治山事業」に携わる。
●その他
好きな食べ物は、水餃子。休日は、ショッピングに繰り出している。

ある日のスケジュール
9:30 始業・メールチェック
10:30 治山現場にて監督業務
12:00 昼食・近隣の県産食材を用いた飲食店へ
13:00 工事発注業務
18:15 退庁



齋 幸佑
(総合土木)
東部県土整備局＜徳島＞
道路管理担当

●業務内容
道路の広告物の管理や住民からの要望対応など「道路管理」を行う。
●その他
好きな食べ物は徳島ラーメン。休日は、徳島ラーメンのお店を巡っている。

ある日のスケジュール
8:30 始業・メールチェック
10:00 市職員と道路管理に関する協議
12:00 昼食・お手製弁当を食べる
13:00 住民からの要望箇所の現場確認
17:15 退庁

徳島県庁を選んだ理由は？

今出：生まれ育った徳島で働き、地域に貢献したいと思ったからです。県庁なら、多岐にわたる業務で地元を支える仕事ができると思いました。また定期的に異動があるので、様々な業務を経験することができます。自分自身の視野が広がり、成長につながると思ったので、入庁を決めました。

齋：祖母の家の近くの中学校が大きな台風が来る度に河川が氾濫し浸水被害に遭っていたのを幼少期より目の当たりにしていました。また東北や九州地方で多数の死傷者を出す地震が発生するニュースを見て、災害に対抗するためには行政の力が重要だと考えるようになりました。近い将来、南海トラフ地震が徳島県を襲うことが予想されています。生まれ育った徳島県の防災、減災に土木の技術者として少しでも貢献したいと思い志望しました。

長谷川：森林整備を通して防災・減災に携わりたかったからです。徳島県は他県と比べて森林面積が大きく治山事業が活発なことに加え、台風や地震の被害が懸念されているため、ここで治山事業をやる意義を感じました。また、私自身、県外出身で引越経験もなかったため、遠く離れた場所で暮らしてみたいという思いもありました。

仕事のやりがいは？

齋：県において最大の公共物である道路を管理していることに誇りを感じています。道路は生活の基盤であり必要不可欠なものであるからこそ県民の方から落下物の回収や道路に関する要望をいただく機会が非常に多いです。要望に対して対応した中で後日「ありがとうございました。助かりました。」とお電話をいただいたことがあります。その言葉のおかげで自身の業務が県民の方の役に立っていると自覚することができ日々のモチベーションに繋がっています。

長谷川：自分が担当している工事ができあがっていくことです。荒れている山にどんな治山事業をするか検討したのち発注し、一年ほどかけて治山ダムができあがります。施工業者さんとたくさんやりとりをし、より防災効果が発揮できるよう検討を重ねていく過程で、教えてもらったことが理解できたり、それをもとに自分で考えて工事を進めていったりすることにやりがいを感じています。

春兼：防災出前講座に行った際に、参加者の方々から「とても勉強になった」とか「来年度もお願いします」といった言葉を聞くときです。まだまだ勉強中で、講座の進行に関しても至らない部分もありますが、参加してくださった自治会の方々や学校の生徒さんからポジティブな言葉を言っていただけでもとても励みになります。

働いてみて意外だったことは？

春兼：思ったよりも外に出る仕事が多いことです。入庁前は、県庁の仕事はデスクワーク中心で、常にパソコンにとらめっこするものだと思っていましたが、現在担当している業務では、役所や地域の自治会、学校に出向くことが多いです。特に学校へ防災の啓発活動に行く機会が多く、学生時代にお世話になった方や仲の良かった友人と一緒に仕事をすることもあります。また、上司からの声掛けなどもあり、有給休暇を取りやすい雰囲気があります。特に、お盆や年末年始は休暇取得が促進されているので、リフレッシュできています。

齋：職場の雰囲気が想像以上に明るかったことです。入庁前は県庁に対して堅く静かなイメージがありましたが、入庁後は職場の上司の方や先輩職員の方に話しかけていただくことが多く、相談もしやすく非常に働きやすく感じています。

今後の目標は？

長谷川：より知識や経験が必要な工事や、山奥の工事の担当になることです。今はまだ経験が浅く知識もないため、基本的な内容の工事で庁舎から近いところにある現場を持たせていただいています。これからもっと経験を積み、複雑な工事や、歩くのも難しい山奥の現場にチャレンジしてみたいです。

今出：地籍調査についてもっと理解を深めたいです。地籍調査は測量などの専門的な知識が必要で、今も毎日勉強しています。それでもまだまだ分からないことがたくさんあるので、さらに知識をつけて、活躍できるようになりたいです。また、今の業務以外では、スポーツ振興によるにぎわい創出に特に興味があり、スポーツ専用施設の建設などにも今後携わってみたいと考えています。

県庁を受験するにあたり試験対策は？

今出：筆記試験の勉強については、問題集を何周も繰り返し解きました。また、受けた模試の復習は必ずするようにしていました。何度も間違える

令和6年度
新規採用職員アンケート

(複数回答可)

回答者
115名

Q1.採用試験前にしておけば良かったと思う試験対策は？

- 面接・論文(27名)
- 徳島県の総合計画を読み、現在の県の課題や問題点などについて、自分の考えをまとめておくこと。
- 勉強も大事だが、面接対策も早めに取り組むこと。

Q2.県職員として働いてみた感想は？

- 職場の雰囲気がいい(47名)
- 職場の雰囲気が想像していたより明るく話しやすい。
- 責任を感じる(8名)
- 入庁1年目から仕事を任されるので、責任があることを意識できる。

Q3.仕事でやりがいを感じたことは？

- 仕事を通じて徳島県に貢献できていると実感できたとき。
- 自分の課が関わっている事業などが、新聞やテレビで取り上げられたとき。

アンケートの全体はホームページをチェック！

新規採用予定者内定式



令和4年度より、10月に新規採用予定者内定式及び内定者交流会を実施しています。知事による訓示や先輩職員との座談会などを行い、内定者同士の親交を深めるとともに、入庁に向けた疑問・不安の解消を図っています。

新人職員メンター制度

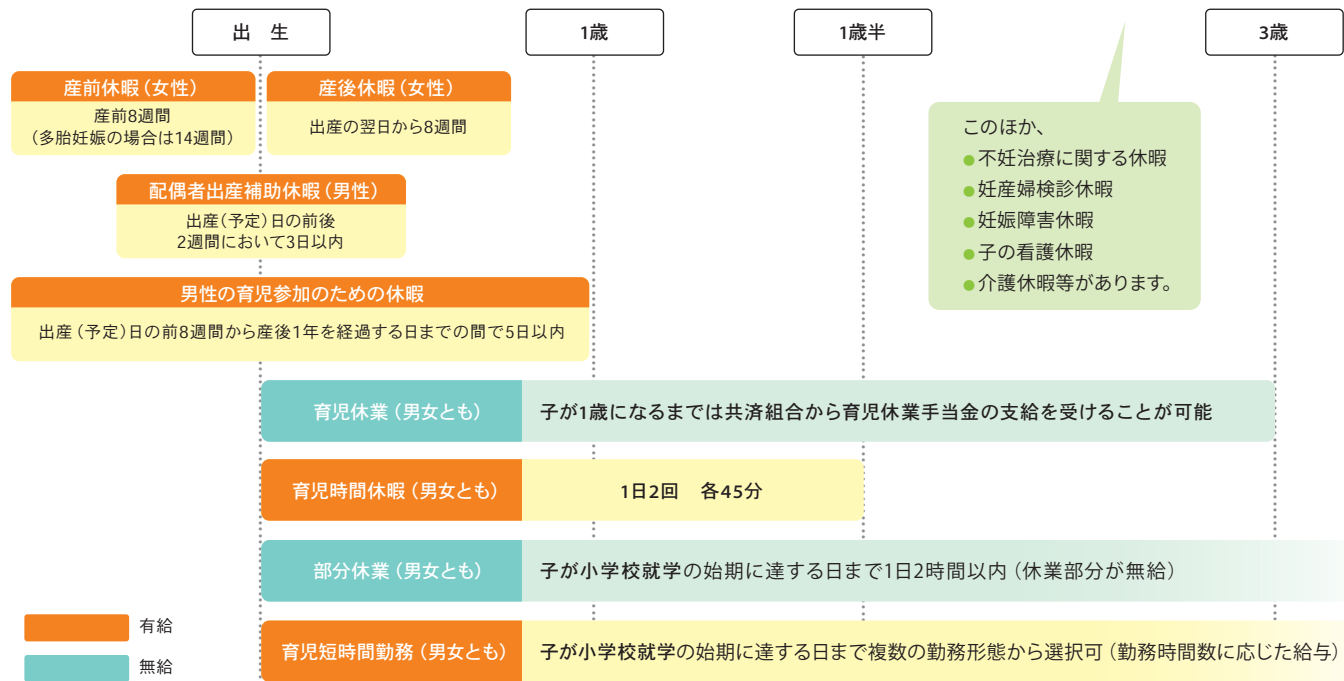
新人職員（新規採用から3年未満の職員）が抱える様々な悩みを気軽に相談できるよう、職場の身近な先輩職員が、職場生活の相談をはじめ、職場のマナーやルールなどの基本的なスキルの習得等をサポートする「新人職員メンター制度」を設けています。

Work Life Balance ワーク・ライフ・バランスの充実

子育て支援

徳島県では、「特定事業主行動計画」を策定し、職員の子育て支援の取組を推進しています。

子育て支援関係の主な休暇休業制度 ※ここでは一部のみを掲載しています。詳細な条件等は県ホームページで御覧いただけます。



育児体験記

仕事と家庭の両立を図り、男女問わずワーク・ライフ・バランスのとれた働き方を目指しています。子育てを行う県職員の声を参考にしてみてください。



こどもの看護休暇や育児短時間休暇など、子育てに関する充実した制度がある



仕事と子育てを両立できる制度、環境が整っている



保育園の送迎に合わせた出勤・退勤時間を選択することも可能

医療政策課 主任
石川 久晃 平成24年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成24年度：東部県税局<徳島>
- 平成27年度：農山漁村振興課
- 平成30年度：病院局総務課
- 令和4年度：医療政策課 (令和6年4月～令和7年3月 育児休業)

県職員内でも、男性の育児休業の取得は増えており、妻が育児休業から仕事に復帰するタイミングに合わせ、私も1年間の育児休業を取得しました。仕事とは違った大変さがありますが、日々成長し、「できること」が増えていく子どもを見られて嬉しく思います。県では、男性でも出産前から、男性の育児参加のための休暇などにより、妻のサポートができます。出産後子どもの看護休暇や育児短時間勤務など、子育てに関する充実した制度があり、家族との時間が取れる環境が整っている点が魅力であると思います。

東部県土整備局<徳島> 主任
秦泉寺 香寿美 平成25年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成25年度：西部総合県民局県土整備部<三好>
- 平成28年度：運輸政策課 (平成29年12月～平成30年9月 育児休業)
- 平成30年度：運輸政策課港にぎわい振興室
- 令和元年度：東部県土整備局<徳島> (令和2年9月～令和3年7月 育児休業)

私たち夫婦は県職員同士で、保育園児の子どもが2人います。両親は遠方に住んでおり頼ることができないので、夫婦で協力し育児をしています。私は育児のために、夕方2時間の部分休業を活用しています。子育ては仕事終わりからが本番です。保育園のお迎えから始まり、夕飯作り、お風呂、寝かしつけなど、自分の時間はおろか子どもとの時間すらままならないかもしれません。部分休業を取得することで子どもとの時間を確保でき、ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方ができることは、大きなメリットだと思います。

総務監察課法制文書室 主任主事
松原 広幸 令和元年度入庁

【過去の所属歴】

- 令和元年度：障がい福祉課障がい者活躍推進室
- 令和3年度：東部保健福祉局<徳島保健所>
- 令和5年度：法制文書課
- 令和6年度：総務監察課法制文書室 (令和6年9月～令和7年2月 育児休業)

第一子誕生を機に、約半年間育児休業を取得しました。初めての育児に戸惑うこともありましたが、夫婦お互いに協力しながら育児に向き合うことができ、何より子どもが日々成長する姿に立ち会えることは貴重な経験でした。育児休業の他にも、家庭の状況に応じて多様な働き方を選択できる環境が整っており、保育園の送迎に合わせた出勤・退勤時間を選択することも可能です。仕事も家庭も大切にしながら安心して働き続けることができる点は大きな魅力です。

県庁働き方改革

多様な働き方の推進

職員のウェルビーイングを向上させつつ、生産性を最大化できるよう、テレワーク等多様な働き方やDXを活用した業務効率化を進めています。

●多様な勤務形態

自分のライフスタイルに合わせて、6パターンから勤務時間を選択することができます。

- ① 7:30～16:15
- ② 8:00～16:45
- ③ 8:30～17:15
- ④ 9:00～17:45
- ⑤ 9:30～18:15
- ⑥ 10:00～18:45

●テレワーク

自分のパソコンを利用して、自宅でも職場と同じように仕事をするができる環境を整備しています。通勤時間を家事や育児、自分の時間に充てられ、時間を有効活用できます。

魅力ある職場環境づくり

職員のワーク・ライフ・バランスの実現やこれからの世代に選ばれる県庁の創造に向け、働きやすく魅力ある職場環境づくりに取り組んでいます。

●時間や場所にとらわれない柔軟な働き方

より柔軟な勤務時間や昼休みの選択、テレワークの更なる活用を実施するなど、職員の多様化するライフスタイルに合わせた多様な働き方を推進しています。



ワーケーションの試行など「柔軟な働き方」の実施(旅行先でのテレワーク試行の様子)

●フラットで風通しの良い職場環境

知事と若手職員とのランチミーティングの実施など、職員が発言・行動しやすい職場の雰囲気づくりを推進し、フラットで風通しが良く一体感のある職場環境づくりに取り組んでいます。



若手職員と知事とのランチミーティング

●県庁こども参観日等の実施

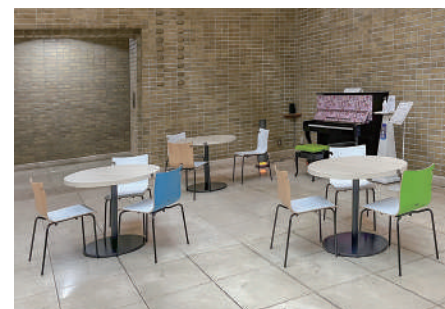
「親しみやすく、誰もが働きたくなる県庁」の創造に向け、創意工夫を凝らした取組を進めています。



職員参加型イベント「県庁こども参観日」

●県庁舎の改修

より魅力のある「開かれた県庁」の実現と、「職員の働く意欲」の向上につなげるために、万代庁舎1階の「県民ホール」と「すだちくんテラス」、11階の「食堂」及び「展望者ロビー」を誰もが利用しやすい快適な空間にリノベーションしました。



万代庁舎1階 県民ホール | ストリートピアノや、打ち合わせ等に使用できる机を設置しました。



万代庁舎1階 すだちくんテラス | 昼食や待ち合わせスペースとして利用できます。自習もOK!



万代庁舎11階 食堂 | 「徳島すぎ」などの県産材を活用した木質空間に生まれ変わりました。

県庁の業務を知ってみたい学生の皆さん!

詳しくはこちら



■徳島県庁版「OB・OG 訪問」を実施しています。(通年実施)

ご自身の学校のOB・OGの在籍の有無に関わらず、希望する職種の職員や興味のある分野に携わっている職員とマッチングします。

■インターンシップを実施しています。

県の機関における職場体験をしていただくインターンシップ(期間が5日に満たない「仕事体験」を含む。)を実施しています。例年7月頃から募集を開始していますので、県HPよりご確認ください。

一般研修

新規採用職員から管理職までの階層別に、求められる実務、政策形成、組織マネジメントなど様々な能力向上を目指して行う研修や、各職員が能力の向上やキャリア形成のために、課目を自由に選択して受講できる多様な研修を実施しています。

新規採用職員研修

「地方自治法」などの関係法令や、「文書作成事務」「コンプライアンス」などの座学中心の課目に加え、「消防学校短期入校」「防災士資格取得」「地域との交流体験研修」など、実践的な能力向上のための研修を実施しています。

特別研修

専門的な知識または技能の修得及び一般的な教養を高めることを目的として、メンター（新人職員指導者）の養成、育休等復帰支援のための研修や職員のリスクリングを支援するオンライン研修などを実施しています。

派遣研修・人事交流

職務を遂行するために必要な知識及び技能を修得するため、職員を国、都道府県、大学、その他の教育研究機関に派遣する研修を行っています。2年程度の長期派遣研修のほか、6か月以内の短期で、高度な専門知識、新技術、行政課題等に対する手法等を習得する「職員キャリア形成研修」があります。

● 国・都道府県

内閣官房、内閣府、消費者庁、デジタル庁、総務省、外務省、財務省（※P6に派遣職員の声掲載）、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、鳥取県、香川県、愛媛県、高知県

令和6年度の主な派遣先

自治体国際化協会ロンドン事務所、
在マレーシア日本国大使館、
在香港日本国総領事館、徳島県上海事務所

● 海 外

● 民間企業・団体

2025年日本国際博覧会協会、日本航空、全日本空輸、関西観光本部、四国ツーリズム創造機構、せとうち観光推進機構



令和6年度関西広域連合広域研修（政策形成能力研修）
現地視察（上勝町）



令和6年度新規採用職員研修
（地域資源との協働）



令和6年度新規採用職員研修
（消防学校短期入校訓練）

庁内公募制度

特定分野（法務、税務、デジタル、国際等）における専門性をもった職員の養成や、職員が有する能力・意欲をより一層発揮できる機会を作るため、入庁後一定年数を経過した職員が、自ら手挙げ方式で応募できる制度を設けています。

- 業務推進型：来年度の新規事業や重点施策、総合計画の各戦術に紐づく業務など、積極的に業務を推進する必要のある所属を対象とした募集を行う制度
- 専門職ポスト：高度な専門性が求められるポストに対して「専門性の高い知識・スキル」を有する職員を募集する制度
- 派遣型：国省庁、他県、大学、団体等に派遣

人事異動

事務職の新規採用者は、約2分の1が政策企画部門を中心とした職場に、約2分の1が現場に近い職場に配属されます。人事異動は原則3年サイクルが基本で、いろいろな部署を経験できるようになっています。人事異動に当たっては、異動先の希望を、自己申告する機会が設けられています。ただし、必ずしも希望どおりになるとは限りません。

勤務条件等

給与制度・赴任旅費

● 初任給（令和7年1月1日現在）

試験種別	試験区分	学歴	給料月額
大学卒業程度	行政事務ほか	大学卒	225,600円
	薬剤師	大学6卒	246,800円
	管理栄養士	大学卒	232,500円
	保健師	大学卒	258,500円
短期大学卒業程度	総合土木	短大卒	210,600円
高等学校卒業程度	行政事務ほか	高校卒	194,500円

● 諸手当

要件に応じて、地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当等が支給されます。また、期末・勤勉手当が年2回（6月と12月）支給されます。
（令和6年度実績（2回合計）： 4.6月分）

● 赴任旅費

令和6年度より新規採用職員も対象！

採用等に伴い住居の移転を行った場合は、条例等の定めに基づく赴任旅費が支給されます。

民間企業等職務経験者 （県外社会人枠）	民間企業等における職務経験年数及びその職務内容に応じ、個別に決定されます。	
	（例） ①	（例） ②
	採用時の年齢が30歳で、大学卒業後、民間企業に就職し、常勤職員（フルタイム）で8年勤務し、行政事務の試験区分で「主事」として採用された場合、給料月額245,000円程度です。	採用時の年齢が40歳で、大学卒業後、民間企業に就職し、常勤職員（フルタイム）で18年勤務し、行政事務の試験区分で「主任」として採用された場合、給料月額300,000円程度です。

行政実務経験者採用	採用前の職務経験年数やその職務内容等に応じ、個別に決定されます。	
	（例） ①	（例） ②
	採用時の年齢が30歳で、国等に大学卒業程度の試験により採用され、正規職員（フルタイム）で8年間勤務し、行政事務の職種で「主任主事」として採用された場合、給料月額255,000円程度です。	採用時の年齢が35歳で、国等に大学卒業程度の試験により採用され、正規職員（フルタイム）で13年間勤務し、行政事務の職種で「主任」として採用された場合、給料月額275,000円程度です。
	（例） ③	
	採用時の年齢が40歳で、国等に大学卒業程度の試験により採用され、正規職員（フルタイム）で18年間勤務し、行政事務の職種で「係長」として採用された場合、給料月額320,000円程度です。	

※一定の職歴等がある者については、その経歴に応じて所定の金額が給料月額に加算される場合があります。

※61歳に達する年度以後、給料及び諸手当の一部は、7割水準となります。 ※警察官の勤務条件等については、徳島県警察本部ホームページをご確認ください。

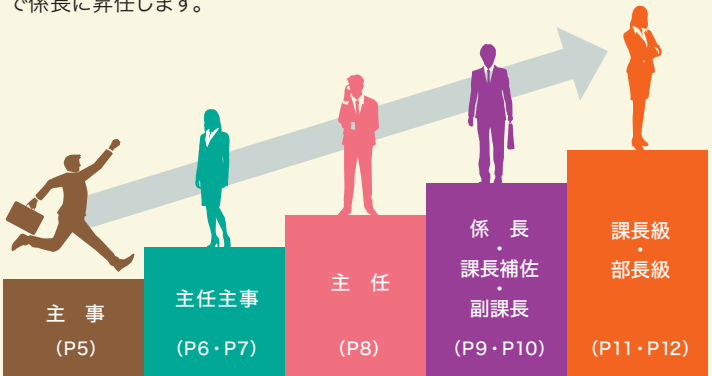
キャリアデザイン

※イメージは一例であり、職種等によって年数は異なります。

徳島県では、事務職と技術職の職種の垣根を越えた人事異動による職域の拡大を推進しており、採用職種に関わらず、知識・経験・能力を活かし、様々な分野で活躍できます。

昇任は、経験や勤務成績等に基づく選考により行われます。

例えば、事務職では主事→主任主事→主任→係長→課長補佐→副課長→課長→副部長→部長となります。早い人で32～33歳で主任に、38～39歳で係長に昇任します。



※役職ごとのインタビューを掲載。カッコ内のページをチェック！

休日・休暇

年次有給休暇 年間 **20** 日
※1年目（4月採用）は15日
前年からの繰越を含めると最大年間40日になります。

原則として、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）は休みです。また、リフレッシュ休暇、介護休暇、夏季・慶弔・出産・育児・不妊治療などの特別休暇があります。

男性職員の育児休業取得率

（令和6年12月1日時点速報値）

97.4%

福利厚生

住宅の確保を必要とする職員のため、勤務庁舎周辺各所に職員住宅を備えています。また職員の安全及び健康を確保し、公務効率の向上を図るため、健康診断・人間ドックなどを実施しています。さらに、共済組合・互助会があり、給付・貸付事業、福祉事業などを行っています。

徳島県職員採用試験が変わります！

※表記された年齢は令和8年4月1日時点における満年齢。

大学卒業程度

ここが変更になりました

試験区分  建築  総合土木  林業 の変更点は次のとおりです。

変更①

「早期卒」を新設します！

- 第1次試験を4月に実施、最終合格発表は6月。
- 27歳までの方が受験可能です。
- 第1次試験は、「職務能力試験」と「エントリーシート」により判定します。（「専門試験」はありません。）
- 6月実施の大学卒業程度の採用試験と併願可能です。

変更②

教養試験を廃止し職務能力試験を導入しています

- 教養試験（50題・150分）を廃止し、基礎的な内容を出題する「職務能力試験（60題・60分）」を導入しています。
- ▶ 受験対策の負担が少なく、より受験しやすくなっています。

変更③

短期大学や高等専門学校の卒業見込みの方も受験できます



変更④

採用候補者名簿の有効期間を延長しています

- 名簿の有効期間を3年に延長しています。
- ▶ 大学院修了後や民間企業で働いた後に職員になることも可能となります。

高等学校卒業程度

ここが変更になりました

最終合格発表時期を前倒し（10月下旬）します！

高等学校卒業程度の試験日程を短縮します。（所要日数：3日→2日）
第2次試験で実施していた「論文試験」「適性検査」を第1次試験日に実施し、これまで11月中旬頃だった最終合格発表の時期を10月下旬に前倒しします。

現行

教養試験・専門試験 — 1日
論文試験・適性検査 — 1日
口述試験 — 1日

変更後



令和7年度

教養試験・専門試験、論文試験、適性検査 — 1日
口述試験 — 1日

※専門試験は、技術系職種のみ実施。
※論文試験は、第1次試験合格者を対象に最終合格者の決定に当たり評定します。

社会人のみなさんへ

ここが変更になりました

＼ 59歳まで受験できます！ ／

「民間企業等職務経験者」試験の変更点は次のとおりです。

変更①

春試験を実施します！

 建築  総合土木  林業 のみ

- これまで年1回（第1次試験：9月）であった試験を、年2回（第1次試験：4月及び9月）実施します。
- 4月の試験を受験した方も、9月の試験を受験することが可能です。

変更②

教養試験を廃止し職務能力試験を導入しています（「氷河期世代」でも導入）



「民間企業等職務経験者」試験以外の新しい採用は次のとおりです。

＼ 59歳まで受験できます！ ／

変更③

「行政実務経験者」採用を実施しています

国や他都道府県で正規職員として勤務した経験のある方を即戦力として採用する「行政実務経験者」採用を実施しています。

- 主な受験資格／国、都道府県又は人事委員会を置く地方公共団体で正規職員として3年以上勤務している方（退職している場合は、退職後10年以内の方は受験可能）
- 募集期間／通年で時期を区切って募集しています。詳しくは、徳島県職員採用案内ホームページをご確認ください。

変更④

「キャリアリターン」採用を実施しています

過去に徳島県の知事部局で採用され、結婚・出産・育児・介護などのやむを得ない事情により退職した方を対象に、再度、徳島県職員として採用する「キャリアリターン」採用を実施しています。

- 主な受験資格／徳島県職員（知事部局において採用された者に限る）として3年以上の職務経験を有する方
- 募集期間／随時。詳しくは、徳島県職員採用案内ホームページをご確認ください。

その他変更事項

「障がい者を対象とした採用選考考査」の受験資格（年齢要件）を拡大します！
令和7年度より59歳の方まで受験いただけるようになります。



よくある質問

採用試験の試験区分や採用予定人数は、いつ公表されますか？

A 採用試験の試験区分や採用予定人数は、4月下旬から5月上旬の間に徳島県職員採用案内ホームページ等で公表する予定です。（一部試験については、3月上旬に公表予定）
なお、年度によって、採用試験を行わない試験区分もありますので、必ず受験される年度の各試験の『試験案内』等でご確認ください。

「大学卒業程度」の試験は、大学卒業（卒業見込み）者でなければ、受験できないのですか？ 「短期大学卒業程度」や「高等学校卒業程度」の試験とは、どのように違うのですか？

A 「大学卒業程度」の県職員等採用試験は、大学卒業程度の学力を必要とする試験であり、大学卒業の学歴を受験資格とするものではありません。大学卒業の学歴の有無に関わらず、年齢等の受験資格を満たしていれば受験できます。また、「短期大学卒業程度」及び「高等学校卒業程度」の採用試験も同様です。なお、「大学卒業程度」、「短期大学卒業程度」では、年齢等の要件のほか、職種に応じて必要とされる免許等が資格要件となる職種があります。試験のある職種等は、年度によって異なる場合がありますので、受験される年度の『試験案内』等でご確認ください。

年齢、性別、出身校、職歴や県外の出身などは、採用試験の可否に影響しますか？

A 県職員、警察官等の採用試験は、公平・公正に実施しており、受験資格を満たしていれば、どなたでも受験でき、年齢、性別、出身校、職歴や出身地などが可否に影響することはありません。



その他の質問は、こちらで
ご確認ください！

● 徳島県職員採用案内 > よくある質問

採用試験の内容について教えてください。また、過去の試験問題は公開されていますか？

A 第1次試験問題については、公開していません。第1次試験の試験種目（教養試験・職務能力試験・専門試験）や出題数、出題分野については、それぞれの『試験案内』でお知らせします。
また、過去の出題問題と同程度の問題について、「例題」として公表していますので、問題の形式、難易度等の参考にしてください。（試験のある年に公表したものを含め3年分を公表しています。）論文試験及びプレゼンテーションについては、直近の過去3年間に出版した課題を公開しています。これら例題等については、県のホームページに掲載しているほか、県庁1階にある県庁ふれあいセンターにおいて、閲覧できます。

複数の採用試験を受験することはできますか？

A 県職員、警察官等の採用試験について、それぞれの試験種別や試験区分の受験資格を満たしていれば、受験日が重なっていない限り、受験可能です（例えば「県職員採用試験（大学卒業程度）」と「警察官A」など）。ただし、同じ試験の中で複数の試験区分の受験申込（例えば「大学卒業程度」の【行政事務】と【警察事務】など）はできません。複数の試験区分に申し込んだとしても、最初に受理した試験区分で受付を行いますので、複数の試験区分への申込みはしないように注意してください。また、受験資格の異なる「警察官A」及び「警察官B」を同一年度に両方受験することは、認められません。

採用試験に合格すると、必ず採用されるのですか？

A 県職員、警察官等の採用試験の最終合格者は、人事委員会が作成する採用候補者名簿に登録され、その中から各任命権者（知事、教育委員会、警察本部長など）が、採用面接又は入庁の意向確認等を行い採用者を決定します。したがって、必ずしも最終合格者全員が採用されるわけではありません。

採用までの主な流れ

● 掲載していない試験を実施する場合があります。詳しくは採用案内ホームページをご確認ください。

試験の種類や実施年度によって異なる場合がありますので、必ず試験案内を確認してください。



※採用候補者名簿登録後に、任命権者が採用面接等を行い採用者が決定されます。したがって、人事委員会での最終合格者全員が採用されるとは限りません。

試験に関する情報・問合せ

徳島県職員
採用案内
ホームページ



SNSでも
情報発信中！
X(旧Twitter)
徳島県
職員採用



Facebook
徳島県
職員採用



LINE
徳島県
職員採用



Instagram
徳島県
職員採用



徳島県人事委員会事務局任用課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁5階
TEL.088-621-3212 FAX.088-621-2887 E-mail:shiken@mail.pref.tokushima.lg.jp

徳島県企画総務部人事課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825 E-mail:jinjika@pref.tokushima.lg.jp